

キラ☆キラ

北九州市市民活動サポートセンター

No.236

令和4年 秋号

目次

- 1P 表紙(NPO・市民講演会開催)
- 2～4P サポの日
- 5P 活動体験プログラム
- 6P 所轄庁からのお知らせ
- 7P サポセンからのお知らせ
- 8P 421Lab.のページ



今年度の『NPO・市民講演会』は、食品ロスの削減や、子育て支援に取り組む「特定非営利活動法人フードバンク北九州ライフアゲイン」理事長 原田昌樹さんをお招きし、お話いただきます！誰もが希望をもって生きることができる社会をつくっていきたいと願う原田さんのご講演を聴いてみませんか？

食がっなぐわがまち 大家族プロジェクト

入場
無料

令和
4年

11/6日 14:00~15:30
(開場 13:30)

会場

北九州市立 子どもの館 子どもホール
(北九州市八幡西区黒崎三丁目15番3号 コムシティ7階)

定員

125名(要申込・先着順)

講師



特定非営利活動法人
フードバンク北九州ライフアゲイン

理事長 原田 昌樹氏

申込方法

電話または電子申請

※電子申請で申込みを行う方は下記(右下)のQRコードを読み取り、申込みフォームに必要事項を記入し、送信してください。

託児あります！

NPO 法人チャイルドケアサポートセンターによる託児があります。
お子さまを預けて安心してゆっくり聴講できます。
※お申し込みの際にお知らせください。

ぜひお申込み
ください！

サポセン
(093)645-3101



詳細は7ページを
ご覧ください！⇒



第230回 サポートセンターの日 NPO 活動発表会 ～生きづらさに悩む女性に～

発表者

北九女子一步会

半田 百合枝さん 西本祥子さん 他

「北九女子一步会」とは

北九州市でひきこもりや生きづらさに悩む女性の支援に取り組んでいる「北九女子一步会」は、ひきこもり支援、困難を抱える子どもや若者の支援、不登校の親の会の運営などの経験を持つメンバー5人で始めました。「なぜ、支援機関につながる女性は男性に比べて少ないのか?」「そもそも、ひきこもりや生きづらさに悩む女性は少ないのか?」という疑問を感じ、「ひきこもり・生きづらさに悩む女性」に関する調査を行うことからスタートしました。



ひきこもりや生きづらさに 悩む女性は少ないのか?

内閣府の調査では、男性のひきこもりは女性のひきこもりに比べ圧倒的に多い。女性は「何らかの家事に従事している」と答えた人が除外され、少なく把握されていました。

北九女子一步会が調査し、発行された報告書『北九州地域における「ひきこもり・生きづらさに悩む女性」に関する調査・研究』はこちらから →



なぜ、支援機関につながる女性は 男性に比べて少ないのか?

- ・男性に対して苦手意識や嫌悪感を持っている。
 - ・女性をターゲットにしたプログラムが少ない。
 - ・プログラムに参加すると、男性の中に女性が一人など、嫌な思いをする。
 - ・「家事手伝い」にみなされ、見過ごされている。
- でも本音は…

- ・人と話すのが苦手だけど、人と交流したい。
- ・就職希望だが、就活に踏み出せない。
- ・自己否定感、人間関係だけでなく経済的不安も。
- ・「居場所」「働く場」を求めている。

女性に特化したプログラムが必要

調査を通じ、悩みを抱える女性たちは、決して怠けているわけではなく、何とかしようと思っているけれど上手くいかないという気持ちで、日々を過ごしていることに気づきました。

男性に比べて少ないのではなく、家事従事という役割で女性のひきこもりが見えづらくなっていること、支援機関では女性向けのプログラムが少ないことも分かり、男性に対する苦手意識のある女性もいるので、女性に特化したものが必要だと強く感じ、現在では様々な女性に特化したプログラムを展開中です。

「北九女子一步会」が開催して いる活動・プログラムの一例

◆ひきこもり女子会 in 北九州

当事者などが集まり、体験談やグループカフェを通じて、安心できる場づくりと「一人ではない」ということを伝える目的として2019年から始めました。

◆女性のための居場所「ひなたぼっこ」

共感し合い、自分一人ではないと感じ、励まされる居場所を目指して毎月第3土曜に開催しています。語り合い中心で合間に手芸や体操なども行っています。

◆「あなたの一步を応援する講座」

「自分となかよしになる」「心の扉を開く」「人とつながる」をテーマに、3人の講師のリレーで連続講座を開催しています。

北九女子一步会 主催
第4回 ひきこもり女子会
in 北九州

この秋開催! 気楽に参加できる女子会です。
一緒に考え、語り、情報交換をしましょう。

北九女子一步会
の情報はこちら



日時: 11月13日(日) 13時30分～17時(開場13時)

場所: ココクル平野・くるくるスペース(八幡東区平野1丁目3番2号)

【第1部】一步を応援する取組みについて 【第2部】グループカフェ

◆参加費: 300円(飲み物、お菓子、資料代)

◆申込方法・問い合わせ: 【メール】kitazyo@gmail.com 【電話】090-6366-9048(北九女子一步会)

※できるだけ事前に、お名前(ニックネーム可)・連絡先・人数をお知らせ下さい。



第 231 回 サポートセンターの日 NPO 活動発表会

三者三様

～自分らしく生きるためのトーク&ライブ～



笛田 ちひろ

リコーダー・レイ
ン
ポーアース代表。サ
ポートセンター相談
員（第2・4日曜）。
リコーダー演奏と講
演活動を行う。

柴野 雅人

北九州市立大学3年
生。学びのなかで二
人と出会い、LGBTQ
理解を深めるための
応援活動を行っている。
「あっ、カラフル」の監督、脚本担
当。

ROSE(宮崎猛志)

LGBTQ 支援任意団体
l'mme 代表。当事者
を応援するアライア
ンスと共に歌と講演活
動を行う。

三者三様のトーク&ライブを展開！

Talk その① 柴野：生活のなかで困りごと
ってありますか？

笛田：自分がLGBTQだと言うとそういう目でしか見られないので、前面に出さないようにしている。ありのままの今の自分を見てもらいたい。

ROSE：日常生活の困りごととはトイレ。ユニバーサルトイレがない場合は男子トイレを利用。自分は大丈夫でも、他の利用者がびっくりにしてしまう。見た目で判断されることが多いため、温泉やプールも制限が多い。また災害時には、生理用品や下着など、性別にかかわる物資をもらう時が大変だったという話を聞いた。

笛田：望む支援は人それぞれ。東日本大震災をきっかけに「にじいろ防災」が注目された。平時から当事者同士の横の繋がりを作っておくことも大切。

Talk その② 柴野：「家族」の話が聞きたい



ROSE：性への違和感を感じたのは50歳。それまでは男性として生きてきた。離婚覚悟で妻にカミングアウトしたが、今もそばで応援してくれている。

笛田：小学生の頃から性への違和感があり、障害とのダブルマイノリティで悩み、引きこもりや自傷を経験したが、明るい母親の理解があるから今の私がいる。

Talk その③

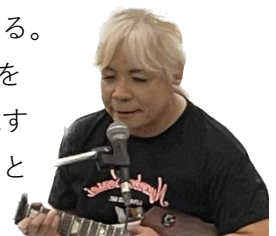
柴野：人前に出て発信しようと思った経緯は？

笛田：リコーダーなんて誰でも吹けると馬鹿にされたこともあるが、私にはリコーダーしかない。私の演奏や講演で命の大切さに気づく人がいる、その思い



があるから命をかけて演奏をする。

ROSE：モチたい一心でギターを始めたが、演奏を聴いて涙を流す人もいる。音楽の力はすごい！と思い、一步が踏み出せた。

参加者から
の質問①

柴野：マイノリティの方と一緒に活動する上でのアドバイスは？

笛田：寄り添うこと。特別なことと思わずに自分のこととして、一緒に考えよう。「何かできることはない？」その一言で救われることがある。

ROSE：特別視されることもある。今ある目と心で、人として向き合うことができればクリアできる。

参加者から
の質問②

柴野：マイノリティに理解がない人との向き合い方をおしえてほしい。

笛田：「男（女）らしく」と言われて嫌だなと思ったことはないですか？みんなが当事者であることを理解してもらい、少しずつ壁を壊していったらどうか。

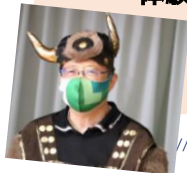
ROSE：自分がどう生きたいかを相手に示してみよう。一人で悩まず声をあげれば、応援してくれる人は沢山いる。私も味方であり続けます。

3人にもそれぞれの個性がある。三者三様。
だからこそ、世の中って、もっと多様。
まずは、相手を知ることからはじめていこう。

第 232 回サポートセンターの日 NPO 活動発表会

モルックを通じた持続可能な未来

北欧フィンランドのニュースポーツ「モルック」を体験し、未来環境について考えよう！

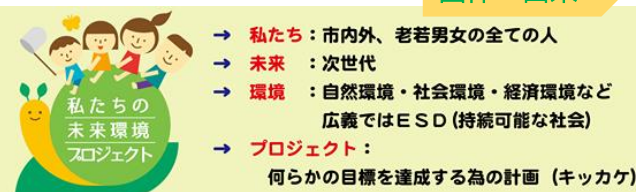


私たちの未来環境プロジェクト
代表 池本 真一氏

団体紹介

2010 年に団体設立。「感じる、遊ぶ、考える、学ぶ」をモットーに、様々な活動を通して、持続可能な社会実現を目指している団体です。モルックは近年注目を集めているニュースポーツ！スポーツの秋ということで、今回体験を交えてお話しいただきました。

団体の由来



活動紹介

キーワードは
「体験から学ぶ判断力」

#環境教育
#体験学習
#ニュースポーツ



自然活動

昆虫観察から生物多様性を考える！

体験活動

海岸清掃活動から、私たちの未来をより良いものにしていくために何が出来るのかを考える！



鬼どって&モルック

クラブ・スポーツ鬼どってなどのニュースポーツから、体を動かして遊ぶ楽しさを知る！

プログラミング

体験教室から、これからの時代に必要なことを楽しく学び、自ら考え創作する！



活動のきっかけは清掃活動

30 代の頃、U ターンで北九州に帰省したとき、子どもころ遊んでいた場所が不法投棄の山でがっかり！なんとかしないと！と奮起し、仲間を集め清掃活動をされたのがきっかけだそうです。地域のために何かしたいと、北九州青年会議所でまちづくりのノウハウを学び、自分でできることからやってみよう！そして次世代にいいものを残していこう！という気持ちが活動の原動力に。現在では、多くの団体と協働し、活動の輪を広げています。

モルック体験やってみた！

モルックとは



モルック（投げる黒い棒）をスキットル（倒す赤いピフ）にあて、先に 50 点とったほうが勝ち！というチーム競技。

モルックをはじめたきっかけは、「誰でも気軽に楽しめる」、「ルールが簡単」という魅力が、「地域の方と交流を深めるきっかけづくりにつながるのでは？」と思ったからだそうです。「モルックは手段であり、利他の心を育むのが目的」と話す池本さん。健康増進を図るとともに、ゆる〜いコミュニケーションができることも魅力のひとつのこと。参加者も終始笑顔で楽しそうでした。

活動への思い

海岸清掃活動の新規開拓やニュースポーツの普及促進に力を注ぎ、多文化共生・未来を切り開くキッカケ作りのお手伝いができるよう、気負わず、細く長く活動が続けていきたいと話されていました。市民センターや社会福祉協議会など、様々な場所でイベント開催中！興味のある方はぜひ！！



メンバー募集しています！

- ・募集年齢：小学生以上（小学生は保護者同伴）
- ・活動頻度：2 ヶ月に 1 回
- ★問合せ・連絡先
TEL：080-5203-5663

近況報告は HP をチェック！





特定非営利活動法人 アニマルケースワーカー協会

ワンちゃん、ネコちゃん好きな10名の参加者たちと一緒に、保護猫や、どこにも行き場のない犬猫たち、処分されてしまいそうな命を助け、ケアをしながら新しい家族を探す取り組みを体験していきます！

最初の体験は、保護された猫ちゃんが暮らす保護猫カフェで、猫との接し方や掃除方法を教わり、実習をみっちり1時間半！参加者みんなで頑張りました！また、切なく、重い保護猫、保護犬の実態を聞き、それぞれ真剣に話を受け止めていました。

次の体験は、譲渡会。秋晴れのなか小倉城お堀周辺で、テントを組み立てブース設営し、ワンちゃん、ネコちゃんと新しい飼い主さんとの出会いを待ちました。人目をひくポップの作成など、知恵を絞って啓発活動を行いました！

どの参加者も銘々自分なりの課題、目的をもって活動体験をしていると実感しました。

NPO 活動体験 プログラム

市民活動サポートセンターでは
今年度新たな事業を展開中！
「ボランティアをやってみたい」
「NPO 活動について知りたい」
という方を対象に
NPO 活動を体験してもらうプログラムをご用意。
4つのNPO 法人での体験の様子を
レポートしていきます。

NPO 法人光楽園

NPO 法人光楽園は平成26年に設立した、暖かく家庭的な雰囲気のもと、自然や人とのふれ合いを大切にしたい保育園の運営等を行う法人です。光楽園さんの活動体験プログラムには5名が参加します。まずは今年7月に移転してきたばかりの光楽園本部にて座学。座学の後、本部（みんなの光楽園）に始まり、志井にある黄金色の田園が望めるおひさまいっぱい光楽園など5カ所を案内していただきました。

『子どもたちの豊かな「生きる力」の育ちを支えていく環境づくり・関係づくりを進めていくことが光楽園の使命（ミッション）』と謳うに相応しく、一つ一つの取り組みや施設の設備が、子どもの生きる力を引き出し、又は補うように設計されていて、目的にブレや妥協がなく、こだわりを感じました。



今後は事前準備を経て、年末に餅つき大会です！今回の体験を通して、参加者一人ひとりが何かしらの気付きを持ち帰ってくれれば良いですね。

NPO 法人わくわく



『NPO 法人わくわく』さんは、障がい福祉サービス事業所を運営し、主に精神障がいをお持ちの方を対象に働くことの支援、暮らしへの支援を行っています。また、障がいの有無に係わらず、地域の方々が自分のまちで心豊かに暮らすため、地域の社会資源となるものを共に創りだしていきたいという思いで日々活動されています。

実は『NPO 法人わくわく』さんのボランティア受け入れはこれから動き出します！というのも、「体験するプログラム自体から、参加者の方々と一緒に企画していきたい！」という団体さんの想いから、日程もすべて真っ新な状態からスタートしています。

参加者の方からどのような企画アイデアが飛び出すのか今から楽しみです。

次号からオリエンテーションの様子やプログラムの内容についてレポートしていきます！

NPO 法人森遊会

NPO 法人森遊会（しんゆうかい）は、人と自然との結びつきこそが大切なことを広く社会に伝えたいと考える森林インストラクターを中心とした森の案内人の団体です。小学生を対象にした森林環境教育（樹木観察、ネイチャーゲーム、ネイチャークラフトなど）や、一般の方々向けの自然観察会や自然体験などを行う、森林を中心に『自然に関すること全般』が活動範囲の団体です！

活動体験プログラムの内容は、事前準備として、高蔵山森林公園にて、なぜツル採りが大切なのか、森の中での危険予知、安全な服装や装備等について学び、ツル採りおよびリースづくりの実践等を体験します。

そして、現場体験として、同じく高蔵山森林公園にて、参加者の小学生が安全に楽しめるよう、一緒に公園内のアケビやフジのツルを採ってリースづくりを体験しますよ！



適格請求書等保存方式(インボイス制度)が 令和5年10月から開始されます

適格請求書(インボイス)とは… 売手が買手に対して、正確な適用税率や消費税額等を伝えるもの(請求書やレシート等)

請求書 △△商事(株)

登録番号 T012345...

11月分 131,200円 ××年11月30日

日付	品名	金額
11/1	魚 *	5,000円
11/1	豚肉 *	10,000円
11/2	タオルセット	2,000円
...		
合計	120,000円	消費税 11,200円
8%対象	40,000円	消費税 3,200円
10%対象	80,000円	消費税 8,000円

※ 軽減税率対象

インボイスに記載すべき事項

- ① 適格請求書発行事業者の 氏名又は名称及び登録番号取引年月日
- ② 取引年月日
- ③ 取引内容(軽減税率の対象品目である旨)
- ④ 税率ごとに区分して合計した 対価の額(税抜き又は税込み) 及び適用税率
- ⑤ 税率ごとに区分した 消費税額等
- ⑥ 書類の 交付を受ける事業者の氏名又は名称

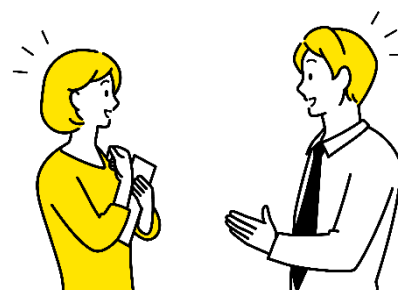
<インボイス制度の概要>

売手

- ✓ 買手から求められたときは、インボイスを交付
- ✓ 交付したインボイスの写しを保存

買手

- ✓ 売手から交付を受けたインボイスの保存
- ✓ インボイスが無ければ、原則 仕入税額控除の適用を受けることが出来ない



登録を受けなければ、インボイスを発行することが出来ません！

ポイント

令和3年10月1日からすでに各税務署にて登録申請書の受付を開始しています。

制度開始時にインボイス発行事業者となるためには、**令和5年3月31日までに登録申請が必要です。**

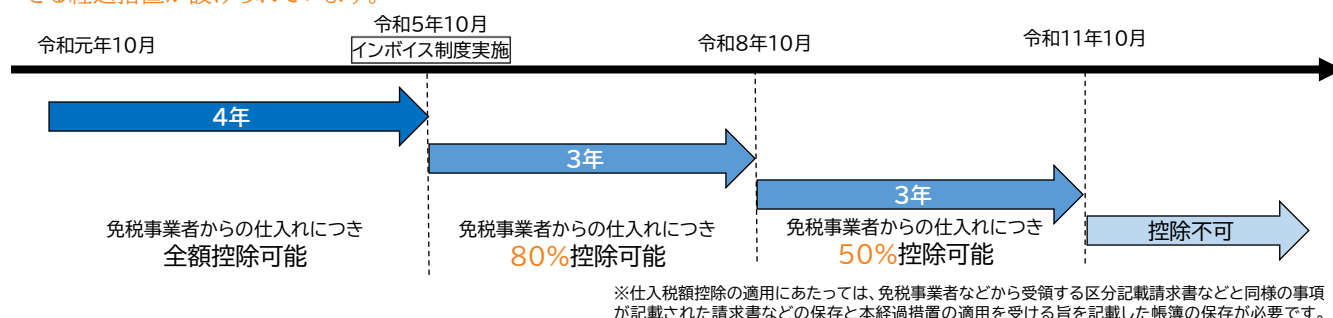
インボイスに登録すると、課税事業者となり納税義務が発生します(2年間は免税事業者に戻れません)。

一方で、インボイスに登録しないことで、課税事業者を相手方とする商取引(物品の納入や講習会など)において、取引相手方が仕入税額控除の適用を受けることが出来なくなります(下記のとおり6年間の経過措置期間があります)。

これまで課税事業者でなかったNPO法人も **制度について十分な情報収集を行い、登録を受けるかどうかご検討ください。**

<経過措置期間>

制度開始後、6年間は、免税事業者等からの課税仕入れについて、**仕入税額相当額の一定割合を仕入税額とみなして控除できる経過措置が設けられています。**



軽減・インボイスコールセンター

0120-205-553(無料) 9:00~17:00(土日祝除く)

※個別相談は所轄の税務署へ事前予約のうえ、ご相談ください。



インボイス制度
特設サイト



チャットボット

【NPO・市民講演会】

食品ロスの削減や、子育て支援に取り組む「特定非営利活動法人フードバンク北九州ライフアゲイン」理事長 原田昌樹さんをお招きし、お話いただきます。

同法人は、食べ物はいのちをつなぐもの、廃棄される食品も誰かの生きる力になるという理念のもと、フードバンク活動、子ども食堂の運営等を行っています。

誰もが希望をもって生きることができる社会をつくっていきたく願う原田さんの講演会にたくさんのご応募お待ちしております。

日時：11月6日（日）14:00～15:30

会場：北九州市立子どもの館
子どもホール（コムシティ7階）

定員：125名（要申込・先着順）

申込方法：電話または電子申請

問合せ先：北九州市市民活動サポートセンター
093-645-3101

ひとみらい交流マンス
令和4年度 NPO・市民講演会

入場 無料

食がっなくわがまち
大家族プロジェクト

令和4年 11/6日 14:00～15:30
(開場 13:30)

会場 北九州市立 子どもの館 子どもホール
(北九州市八幡西区泉崎三丁目15番3号 コムシティ7階)

定員 125名 (要申込・先着順)

講師 特定非営利活動法人
フードバンク北九州ライフアゲイン
理事長 原田 昌樹氏

託児あります！
NPO法人チャイルドケアサポートセンターによる託児があります。
お申込みを預けて安心してゆっくり聴講できます。
※お申し込みの際にお知らせください。

北九州市市民活動サポートセンター
TEL: 093-645-3101 E: info@kirakirakita.jp
ホームページ: https://www.kirakirakita.jp/
開館時間: 10:00～21:00 (日・祭日は18:00まで) 休館日: 第1・3・5月曜日

主催 北九州市
お申し込み方法は裏面に
ご確認ください

注意事項

- 定員は、新型コロナウイルス感染症の拡大により増減することがあります。
- 発熱・感冒症状がある場合は、ご来場をお控えください。
- ご来場の際は、マスクの着用をお願いします。

【税理士相談】

毎月第2水曜 17時～20時（1コマ1時間）

実施。（無料・要予約）

いつまでも逃げていられない、会計の悩みに
マンツーマンでご相談をお受けします。

帳簿のルール、事業報告書の作り方など。

【note 始めました！】

今年度から note をはじめました。

市民活動サポートセンターでの出来事や
日々の想い、セミナーやイベントのご紹介な
どなど…投稿しています。

是非のぞいてみてください！



【NPO 法人入門説明会】

毎月2回、第1木曜・第4月曜 19時～20時

に開催。（無料・要予約）

「NPO ってなんだろう？」「申請書類の作り
方は？」など基本的なご質問から、法人運営
に関するご相談まで。

【NPO の活動紹介します！】

市民活動サポートセンターHP(キラキラネ
ット)で団体の活動を紹介します！

広く市民の方々に日頃の活動を知ってもら
いませんか？掲載を希望する場合は

申込みフォームをサポセン宛てに
送付ください！



421Lab. だより

北九州市立大学 421Lab.が
お届けします！



こんにちは！北九州市立大学地域共生教育センター（通称 421Lab.）です。421Lab.は、地域で活動したい北九州市立大学の学生と、学生と一緒に課題を解決したい地域の方々と繋ぐ活動をしています。今回も 421Lab.の活動について紹介したいと思います！

421Lab.の主役は「学生プロジェクト」！！

421Lab.には地域の課題解決に取り組む「学生プロジェクト」があります。現在、421Lab.には 21 の学生プロジェクトがあり、主に 8 つの分野で活動しています！それぞれ目的を持ち、年間を通じて活動を行っています！！



今回は学生プロジェクトの 1 つである「SDGs Community プロジェクト」をご紹介します！

SDGs Community プロジェクト

活動人数 8 人

リーダーの
大友さん



福岡のデザイン会社さんから「一緒に SDGs を広める活動を北九州でしませんか」とお声がけ頂いたことがきっかけでプロジェクトが始まりました。北九州市役所や地元の方々と一緒に SDGs の視点から様々な活動をしています。今年度は地元の企業と協力し、「大豆ミート」を使った商品開発に取り組んでいます。地元のピザチェーンにも協力して頂き、大豆ミートや地元野菜などを使った健康や環境に配慮したピザを考えています。完成したら是非食べてみてくださいね！

始まったばかりのプロジェクトですが、北九州市の SDGs の広がりに貢献できたらいいと思います。



本号では、21 のうちの 1 つのプロジェクトをピックアップして紹介させていただきました。他のプロジェクトも様々な活動を行っていますので、ぜひ 421Lab.の HP などをご覧ください！！
冬号でも「学生プロジェクト」をご紹介します。
お楽しみに！！



〒802-0841
北九州市小倉南区北方 4 丁目 2 番 1 号
公立大学法人北九州市立大学
地域共生教育センター（通称：421Lab.）
TEL 093-964-4092



公式 HP



Twitter



Instagram



北九州市
市民活動
サポートセンター



開館時間 月曜日～土曜日 10:00～21:00
日曜日・祝日 10:00～19:00
休館日 第 1・3・5 月曜日、年末年始

北九州市八幡西区黒崎三丁目 15 番 3 号（コムシティ 3 階）

☎ 093-645-3101 FAX 093-645-3102

HP <https://www.kirakirakitaq.jp> info@kirakirakitaq.jp